

# 長期にわたる過酢酸系除菌洗淨 剤サナサイド-KGの使用経験

鈴木則雄<sup>1)</sup> 江刺志穂<sup>1)</sup> 五十嵐洋行<sup>1)</sup> 中村雅将<sup>2)</sup>  
政金生人<sup>2)</sup> 矢吹清隆<sup>3)</sup>

医)清永会 矢吹 嶋クリニック 臨床工学室<sup>1)</sup> 同内科<sup>2)</sup> 矢吹病院外科<sup>3)</sup>

# 目的

- 当院は2008年8月に開院以来、透析液配管洗浄を過酢酸系除菌剤サナサイド-KG<sup>®</sup>(アムテック社)と次亜塩素酸Naで洗浄を行ってきた。
- 配管内付着物の剥離効果が期待出来る過酸化水素水の含有量の多い過酢酸系除菌剤サナサイド-KGの長期にわたる使用効果を検討した。

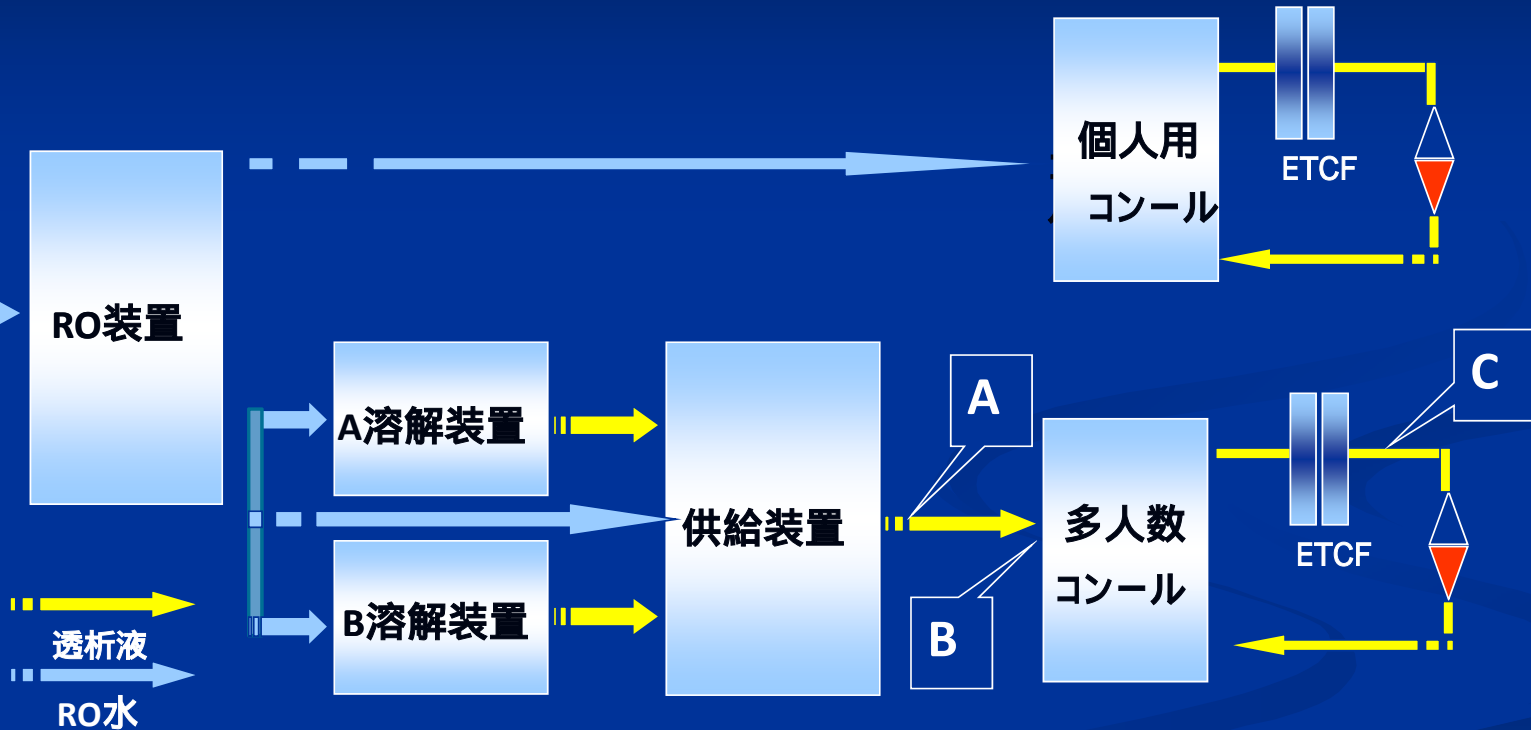
# CDDS洗淨方法

	月水金	火木土
RO水ライン洗淨 (極低濃度薬液封入)		
事後水洗	60分	60分
消毒	500ppm 20分	500ppm 20分
水洗	-	30分
酸洗淨(過酢酸)	-	150倍希釈 45分
夜間封入 7-36時間		
事前水洗	90分	90分
液置換 30分		

消毒は次亜塩素酸Na、過酢酸はサナサイド-KG(アムテック社製)を使用

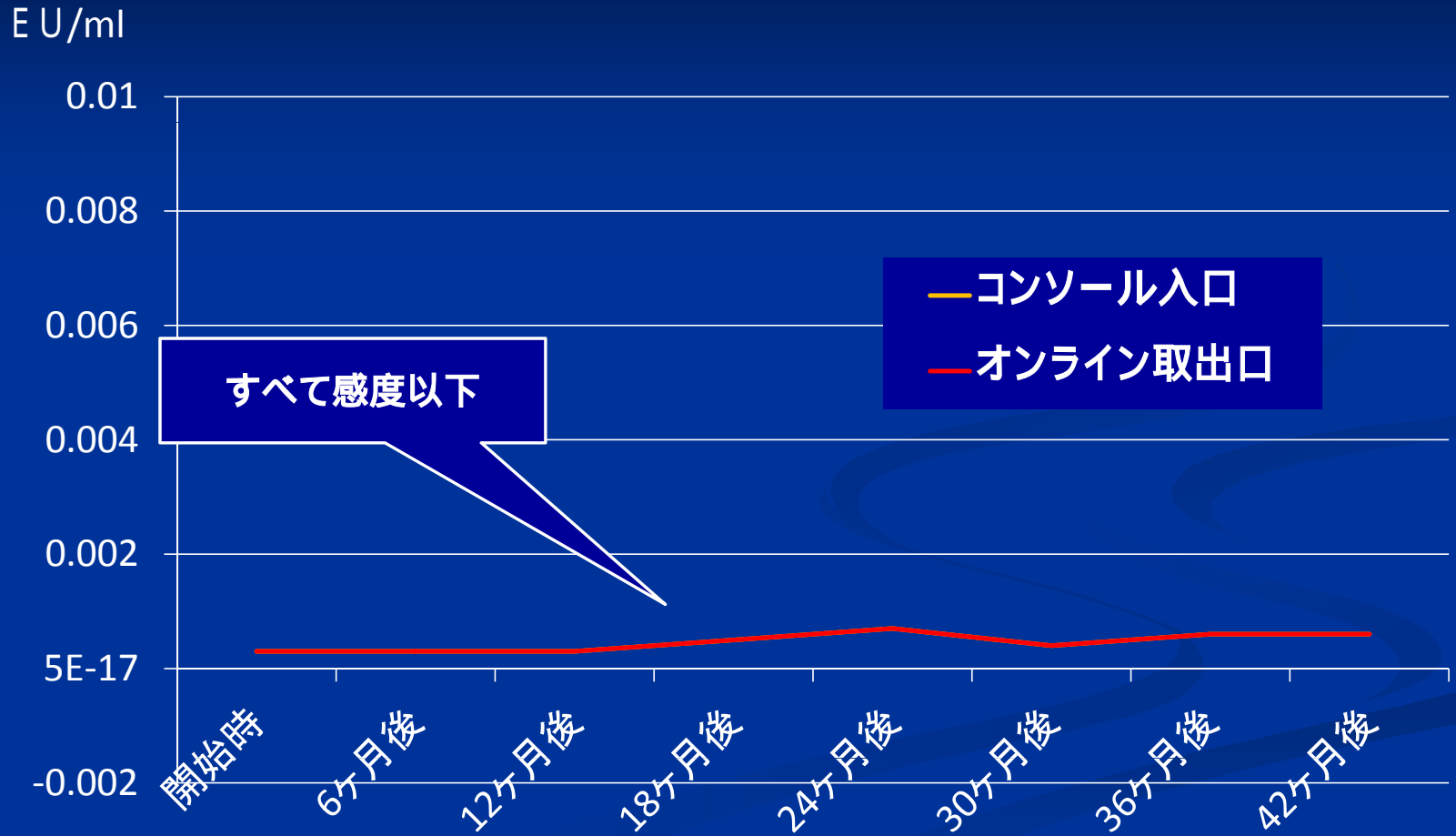


# サンプリングポイント



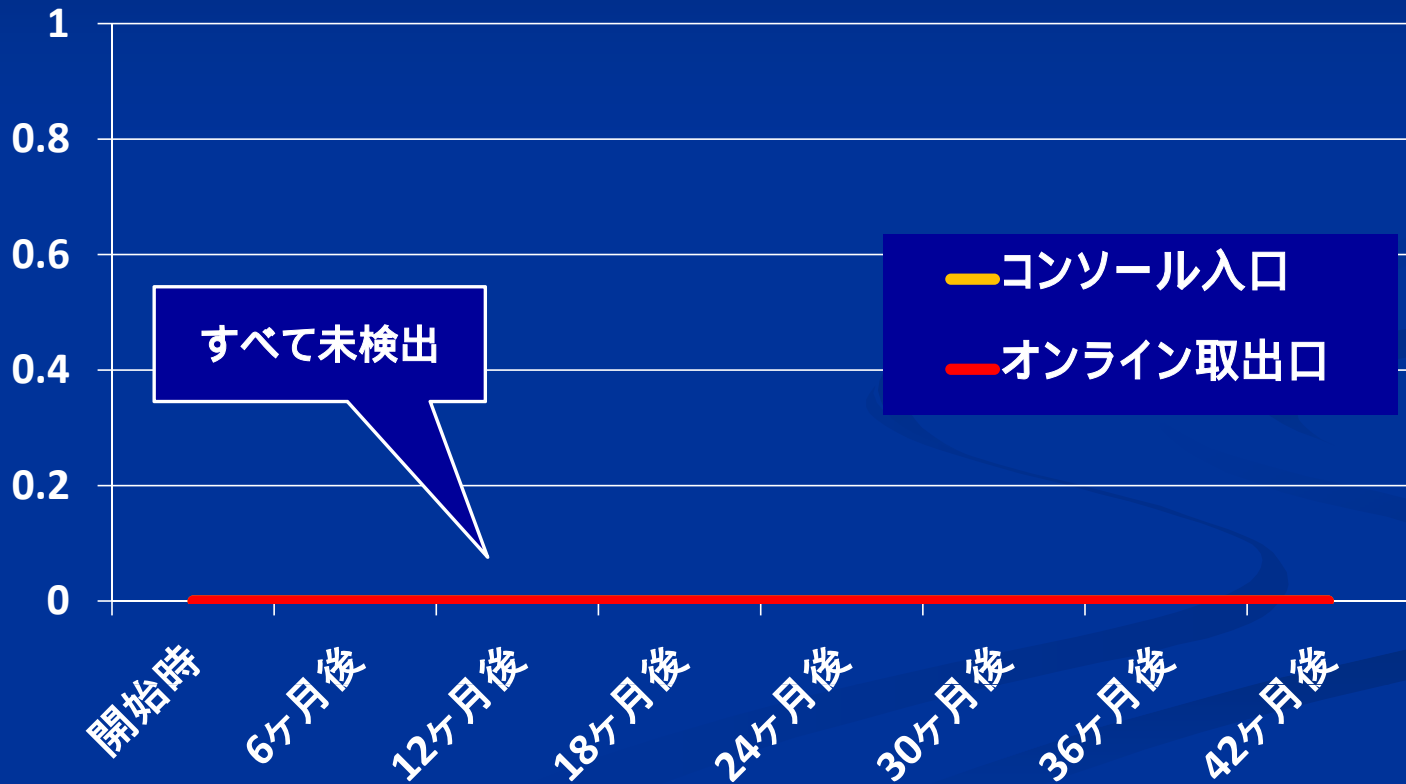
A: 多人数用コンソール入口 B: 多人数用コンソール入口

# ET値推移



# 生菌数推移

CFU/ml



# ETRFのチャレンジテスト結果

多人数コンソール4台 1stETRF

	負荷ET濃度 (EU/ml)	濾液ET濃度(EU/ml)	LRV
9月期	6.698	$< 0.3518 \times 10^{-3}$	$> 3$
9月期	6.698	$< 0.3518 \times 10^{-3}$	$> 3$
12月期	9.876	$< 0.6302 \times 10^{-3}$	$> 3$
12月期	9.876	$< 0.6302 \times 10^{-3}$	$> 3$

多人数コンソール4台 2ndETRF

使用期間:180日

	負荷ET濃度 (EU/ml)	濾液ET濃度(EU/ml)	LRV
9月期	6.698	$< 0.3518 \times 10^{-3}$	$> 3$
9月期	6.698	$< 0.3518 \times 10^{-3}$	$> 3$
12月期	9.876	$< 0.6302 \times 10^{-3}$	$> 3$
12月期	9.876	$< 0.6302 \times 10^{-3}$	$> 3$

使用期間:30日



# 考 察

- 過酢酸使用でETRFの劣化が心配されたが、使用期間でLRVは3以上を維持できており、試験期間内での除去性能の低下はなかった。
- 長期間安定した清浄度が保たれていたことから、サナサイド-KGは、安定した洗浄効果が期待できる過酢酸系洗浄剤と考えられた。

# 結論

長期間安定した洗浄効果が期待できる  
洗浄剤を使用することにより、清浄度の  
高い透析液が安定して供給される。

# 日本透析医学会 COI開示

**筆頭発表者名：鈴木 則雄**

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません。